

# 議会だより

福島県中島村議会



みんながんばれ(スポーツフェスティバル)

◇一般会計・特別会計決算	2
◇決算審査意見・審議内容(26年度補正予算)	3~4
◇村長報告・行政報告	4
◇委員会報告	4~5
◇請願陳情・議会のうごき・編集後記	6



# 第3回 議会定例会

平成26年第3回議会定例会は、9月29日から10月7日までの9日間の日程で開催されました。今定例会では、村長から、報告事項1件が報告され、平成25年度決算認定案8件、条例制定案1件、工事請負変更契約締結案1件、一般会計及び特別会計補正予算案4件の合計14議案が提出され、慎重に審議した結果、全議案原案のとおり可決されました。

平成25年度の一般会計及び特別会計決算が、原案の通り認定されました。

## 平成25年度一般会計決算内訳

(単位：万円)

	項 目	25年度決算額	24年度決算額	比較増減
歳入	村 税	47,706	43,715	3,991
	地方譲与税	2,669	2,809	-140
	地方消費税交付金	3,950	3,985	-35
	地方交付税	127,184	126,845	339
	分担金及び負担金	976	1,170	-194
	使用料及び手数料	4,210	4,242	-32
	国庫支出金	25,031	32,928	-7,897
	県支出金	79,079	59,330	19,749
	財産収入	920	572	348
	寄 付 金	309	500	-191
	繰 入 金	16,642	3,912	12,730
	繰 越 金	20,035	30,567	-10,532
	諸 収 入	1,873	2,716	-843
	村 債	17,529	25,491	-7,962
	その他の収入	1,460	1,227	233
		合 計	349,573	340,009
歳出	議 会 費	5,160	5,268	-108
	総 務 費	40,781	42,126	-1,345
	民 生 費	62,226	53,700	8,526
	衛 生 費	63,163	49,736	13,427
	労 働 費	196	422	-226
	農林水産業費	36,424	30,091	6,333
	商 工 費	1,857	1,695	162
	土 木 費	24,948	8,974	15,974
	消 防 費	20,144	24,795	-4,651
	教 育 費	28,076	28,759	-683
	災害復旧費	5,098	31,875	-26,777
	公 債 費	24,172	23,033	1,139
		合 計	312,245	300,474

※収支差引残額3億7,328万円のうち、1億8,100万円は基金へ繰入する。

## 平成25年度各会計別決算状況

(単位：万円)

	会 計 名	歳 入	歳 出	収支差引残額
一	般 会 計	349,573	312,245	37,328
特 別 会 計	国民健康保険	63,330	60,003	3,327
	簡易水道	14,785	14,327	458
	土地造成事業	4,560	66	4,494
	農業集落排水事業	38,045	37,334	711
	墓 地	372	61	311
	介護保険	36,322	35,008	1,314
	後期高齢者医療	3,394	3,353	41
	合 計	510,381	462,397	47,984

※金額は、千円以下を切り捨てて表示しています。



# 決算審査意見



大澤 洋次郎 監査委員

第3回定例会において、大澤洋次郎村代表監査委員より平成25年度一般会計及び特別会計の決算審査結果が報告されました。

## ◆審査の総括意見

原発事故からの復旧・復興を進める中、事務事業においては適正に執行されている。

なお、特筆すべき点については、以下のとおりであるので十分なる検討のうえ、対処改善されるよう望む。

## ① 各款項目節の予算及び歳入歳出額について

計数を予算書及び歳入歳出現計表並びに証券類に基づき、その内容を審査した結果は正確かつ適正なものと認める。

## ② 予算執行状況について

いわゆる「アベノミクス」効果により、中央においては、活発な経済効果が見られる等のマスコミ報道があるものの、地方においては、いまだ目に見える景気の回復基調は実感できていない中において、合理的、計画的、効果的に執行されている。今後も、最少の経費で最大の効果を上げられるよう、なお一層努力されたい。

## ③ 村税等の滞納金及び不納欠損処分の対策について

納税の啓蒙努力は見られるが、成果については僅かである。未納者の現状を把握し、家庭訪問をするなど納税指導を強力に進められたい。

本年10月からは、白河地方広域市町村圏整備組合内の滞納整理部門においても、滞納徴収事務が実施されるが、村としても未納者の現状を把握し、納税指導を強力に進めてもらいたい。  
欠損処分については、昨年度よりは減少しているものの、税の公平な負担の面からも更なる減少に努めること。

## ④ 主要事業について

各事業において、それぞれの期間及び設計書通りに完成されている。繰越事業については現地確認の結果、進捗状況、施工箇所等特に問題はなかった。

## ⑤ 公有財産について

保有する財産については、適正に管理されているが今後とも財産の保全とともに、効果的な運用を望む。

## ⑥ 基金運用について

条例に基づき適正に運用されていると認められる。

昨年指摘した人材育成基金については、原資を取崩して事業資金に充当できるように改正したことは、時期を得たものであると評価する。今後とも将来の中島村を担う人材育成のために活用されることを期待する。

## ⑦ その他

各種負担金、補助金等については、実態や実情を把握し社会情勢に合致しているか十分検討し、必要に応じ維持するもの及び減額、整理統合の判断をされたい。

# 審議内容

## ◆議決された条例

◆中島村子ども・子育て会議条例

平成27年度から子ども・子育て支援新制度が本格的にスタートする予定であるが、これに伴い、子育てをめぐる課題の解決や具体的な支援事業の取り組みを推進するための意見を関係者等から聴く必要があるための条例を制定するもの。

審議結果 原案可決

## ◆議決された請負契約

◆中島村除染事業仮置場造成工事請負変更契約

先に契約締結し、工事を進めている仮置場造成工事において、工事請負額に変更が生じたため、地方自治法並びに議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき、議会の議決を求めるもの。

審議結果 原案可決

# 26年度補正予算

## ◆今回提出された特別会計補正予算

◆国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

既定予算額に1503万円を追加し、総額6億1132万円と定められました。

歳入の主なもの、繰越金1462万円。

歳出は、実績にもとづく国及び社会保障支払基金への返還金に1462万円を増額する補正。

審議結果 原案可決

◆農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)

既定予算額に233万円を追加し、総額2億5304万円と定められました。

県道棚倉矢吹線の交差点改良工事に伴う汚水桝移設工事を実施するための増額補正。

審議結果 原案可決



# 一般会計補正予算歳入 ・歳出の主な内容

7,954万4千円を追加し  
総額32億6,486万2千円に

<b>歳入</b>	
地方交付税	
○普通交付税	9,393万円
県支出金	
○環境衛生費補助金	6,500万円
繰入金	
○財政調整基金取崩	△8,520万円
<b>歳出</b>	
総務費	
○ブランド・イメージ回復 支援関連委託料	238万円
民生費	
○身体障害者保護費返納金	113万円
○臨時福祉給付金	363万円
衛生費	
○除染対策事業委託費	2,500万円
○仮置場造成工事費	4,000万円

◇後期高齢者医療特別会計補  
正予算(第1号)

既定予算額に84万円を追加し、総額3617万円と定められました。

社会保障・税番号制度システム整備に伴う増額補正。審議結果 原案可決



## 村長報告

○健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき報告があり、指数については、前年同様財政の健全性を示しており、今後ともその維持に努める旨の報告がありました。

## 行政報告

村長より、平成26年第3回議会定例会にあたり、行政の執行状況についての報告がありました。

行事においては、7月27日に「いきいきフェスタ」を開催し、村内外から大勢の来場者を迎え、天候にも恵まれ大変賑わいました。

今回は東京なかじま会から

も多くの参加をいただき、風評被害払しょくにも役立ち、大成功を収めました。  
8月5日から9日までは、中学生によるマレーシアへの海外派遣事業が実施され、23名の生徒が参加し、4泊5日にわたり国際感覚を養いました。

イナナムセカンダリースクールでは、全校生徒の熱烈的な歓迎を受け、参加した生徒たちも大変感激したと同行役員より報告を受けています。

この事業が、中学生を起点とした若者の人材育成に今後とも寄与することを期待しています。

8月20日には、人材育成の一環として「サイエンスショー」が生涯学習センター輝ら里で開催され、夏休み中の小中学生などで会場は一杯となり、科学の持つ魅力を体感いたしました。

工事関係では、9月に入り道路災害単独復旧工事及び改善センター太陽光発電設備等導入工事の発注を終了したほか、繰越事業である仮置場工事についてもほぼ完成に近づ

きつつあります。

除染に関しては、各地区における住宅地等の除染事業につきましても着実な成果があがっています。

その他事務事業についても順調に進捗しておりますことを報告いたします。

## 委員会報告

### 議会運営委員会

委員長 円谷 哲雄  
委員 木村 秋夫  
藤田 利春  
折笠 三吉





議会運営委員会は、9月24日に委員会を開催し、第3回議会定例会の運営について協議しました。

・提出議案について

総務課長より、第3回議会定例会に提出予定案件の概要について説明を受け、今議会で審議することと決しました。

・請願陳情について

今定例会には、4件の陳情があり、「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金による就学支援事業の継続を求める陳情」については、総務教育常任委員会に付託とし、他3件の陳情については、文書配布のみとしました。

・会期及び日程について

会期は、9月29日より10月7日までの9日間としました。

総務教育常任委員会

- 委員長 水野谷 博
- 委員 木村 秋夫
- 〃 折笠 三吉
- 〃 水野谷 薫



総務教育常任委員会は、陳情1件について付託を受け、9月29日に委員会を開催し、その内容について審査しました。

◇「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金による就学支援事業の継続を求める陳情」について

福島県の教育は、東日本大震災及び原発事故発生以降、以前とは違った様々な教育課題を抱えています。

現在も多くの子どもたちが県内外に避難し、そこでの生活を余儀なくされています。いまだにふるさとに帰還することもできず、経済的な支援

を必要とする子どもが多くいます。

「被災児童生徒就学支援等臨時交付金」は平成23年度に創設され、平成24年度から26年度までの3ヶ年分が予算措置されています。この特例交付金により、被災した子供たちには、学校で学ぶための諸経費及び通学費の補助が行われてきました。

原発事故問題がまだ終息していない現在において、この特例交付金による就学支援をすることは極めて重要であり、平成27年度以降も継続した就学支援が必要であるため、国の関係機関へ特例交付金制度の継続と必要な財源措置を行うよう求めているのがこの陳情の要旨です。

審査の結果、願意妥当との意見の一致を見「採択」すべきものと決しました。

特別委員会

- 委員長 藤田 利春
- 委員 木村 秋夫
- 〃 小室 辰雄
- 〃 円谷 哲雄

- 〃 水野谷 博
- 〃 折笠 三吉
- 〃 鈴木 新平

震災及び原発事故調査特別委員会は、10月1日委員会を開催しました。

除染による仮置場の工事進捗状況について、生活支援対策室長に説明を求め工事の進捗状況や搬入予定時期等について説明を受けました。

また、実際に工事現場を視察し、工事進捗状況等を見聞いたしました。



議会広報編集委員会

- 委員長 小室辰雄
- 委員 水野谷博
- 〃 木村秋夫
- 〃 鈴木新平

議会広報編集委員会は、11月10日に委員会を開催し、議会だより11月発行の編集業務を行いました。

町村議会議員研修会

去る10月28日に郡山市の「ビックパレットふくしま」において、福島県町村議会議員研修会が開催され、本村議会議員も参加しました。

研修内容は、明治大学名誉教授の中邨 章氏による「地方政治の課題―転換期を迎える議会」と題した講演がありました。

さらに帝京大学経済学部教授の黒崎 誠氏による「これからの政治・経済のゆくえ」と題した時局講演がありました。





## 請願・陳情

9月議会定例会に提出された陳情は、次のとおり処理されました。

◇陳情第4号 「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金による就学支援事業の継続を求める意見書」について

陳情者 福島県教職員組合

中央執行委員長

角田政志

審議結果 採択

意見書を次の機関へ送付

復興大臣

文部科学大臣

総務大臣

財務大臣



◇交通安全・防犯パレード

9月24日吉子川小学校児童

による交通安全・防犯パレードが実施されました。

当日は、吉子川小学校から

輝ら里まで鼓笛パレードを行い、村交通安全団体や防犯協会関係者とともに、村議会議員も参加し、交通安全と防犯の強化を呼びかけました。

の強化を呼びかけました。



## 編集後記

東日本大震災が発生して3年半が経ちました。時の過ぎ行くのは早いものです。人々の心の中から当時の苦労や悲しみなどを少しずつ忘れさせてくれます。

村内を歩くと子供達の歓声が聞こえてきます。運動会の練習でしようか、楽しそうですね。また、周りを見渡すと黄金色に染まった水田が一面に広がっています。私が住む近くの高台より見下ろす様は、まさに絶景です。金色のじゅうたんを敷き詰めたような光景で、見ていると気持ち晴れ晴れとします。

しかし、台風などにより水害が発生するとその姿は一変し、泥水に汚れた海と化します。今は台風が来ないことを願っています。

話は変わりますが、最近御嶽山の噴火で多数の方々が被害に遭われました。文明が進歩した今でも、地震や噴火の予知は難しいようです。私たちが住む国は、火山列島の上に在ります。また、四方が海の島国です。観光などで海や山に出かける事があると思いますが、その時地震が来たらどうしますか？思い出してください。3・11の記憶を。きつと役に立つ事と思います。今年もあとわずかです。村民の皆さんが無事に過ごされますように願っています。

広報編集委員 小室 辰雄

議 会 の う ご き	月 日	事 項
議 会 の う ご き	8月 1日	・中学生海外派遣事業壮行会
	7日	・広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
	8日	・棚倉矢吹線道路整備促進期成同盟会総会(矢吹町)
	22日	・西白河地方町村議会定例議長会(白河市)
	23日	・市町村対抗軟式野球大会激励会
	27日	・町村議会正副議長研修会(福島市)
	9月 1日	・特別養護老人ホーム「ひかりの里」開所式
	24日	・議会運営委員会
		・交通安全防犯パレード
	26日	・26年度敬老会
	27日	・幼稚園運動会
	29日 ~10月7日	・26年第3回定例会
	10月 12日	・なかじまの里スポーツフェスティバル
		・市町村対抗ソフトボール大会激励会
	18日	・学習発表会(滑津小)
	19日	・消防団秋季検閲
	25日	・ききょう祭(中学校)
	28日	・町村議会議員研修会(郡山市)
	11月 1日	・あやめ発表会(吉子川小)
10日		・議会広報編集委員会